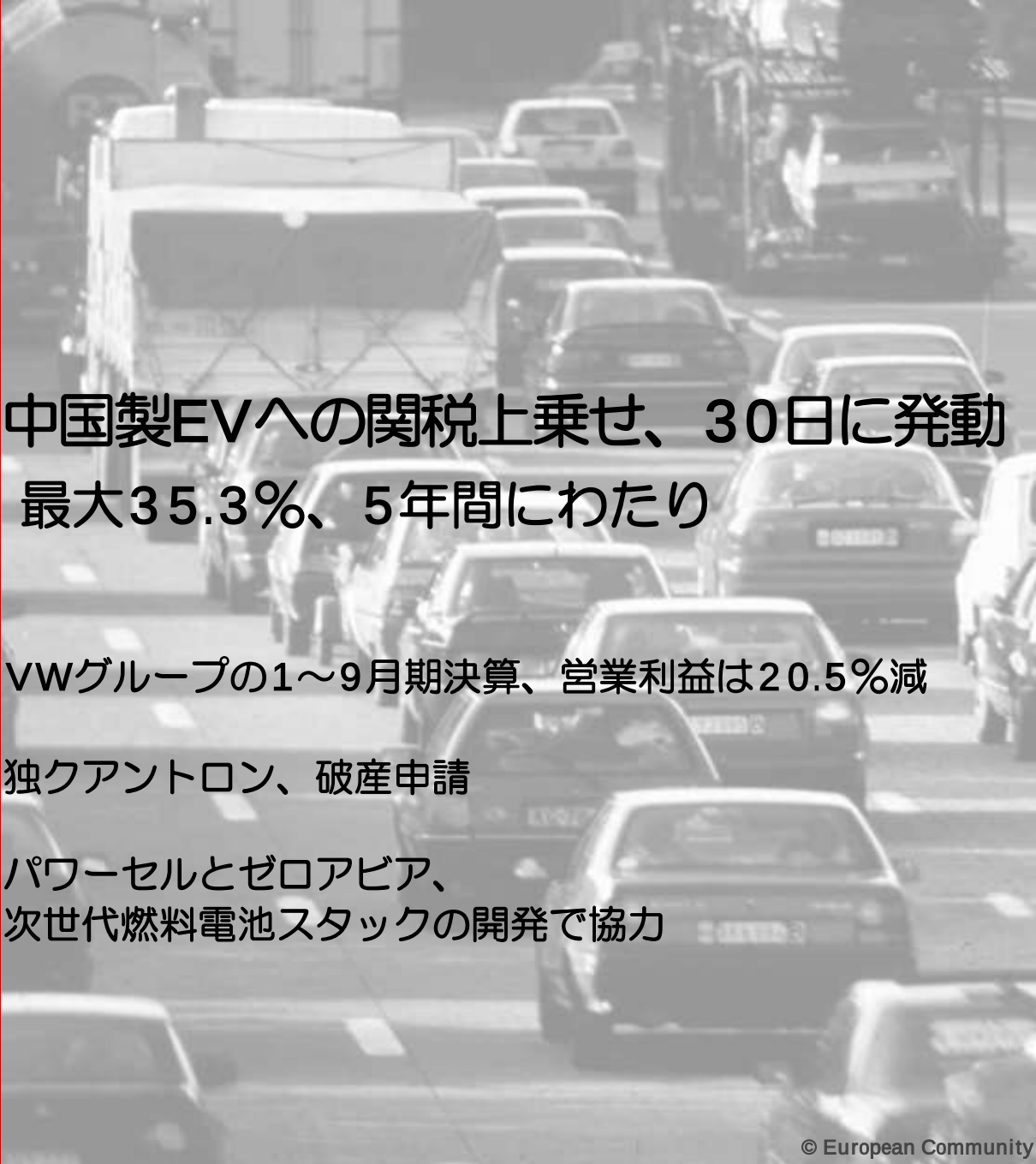


欧州自動車産業ニュース

No. 954

2024年11月1日号



中国製EVへの関税上乘せ、30日に発動
最大35.3%、5年間にわたり

VWグループの1～9月期決算、営業利益は20.5%減

独クアントロン、破産申請

パワーセルとゼロアビア、
次世代燃料電池スタックの開発で協力

© European Community

※ PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

- 1.本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
- 2.本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

中国製EVへの関税上乘せ、30日に発動	4
欧州商用車販売、1～9月にバンは8.5%増加	4

企業情報

自動車メーカー

VWグループの1～9月期決算、営業利益は20.5%減.....	10
オペルが新型「モッカ」の受注開始、エントリーモデルは2万6,740ユーロから	10
独クアントロン、破産申請	11
ボルボ・カー、Q3は29%の増益.....	11
ステランティス、新ランチア「ガンマ」を伊メルフィ工場で生産	11

部品メーカー

パワーセルとゼロアビア、次世代燃料電池スタックの開発で協力	12
フォルビアのアプリマーケット、ダチア車に搭載	12
EKPO、宇宙センターの定置用発電機向けに燃料電池スタックを供給	13

クローズアップ

H2Rhein-Neckar	14
----------------------	----

欧州自動車短信

ボルボ・カーズ、アウディ	15
--------------------	----

一般・その他

サーブ製鉄所の脱炭素化、欧州委が公的補助を承認.....	16
インテルへの巨額制裁巡る訴訟、EUの敗訴が確定	16
マイクロソフトのリンクトイン、EUデータ保護規則違反で制裁.....	17
ウクライナへの350億ユーロ融資、欧州議会も承認	17
モルドバの国民投票にロシアが介入、EUが非難	17

テクノロジー・トレンド

JLRが印に5つめのイノベーションハブ開設、「オープンイノベーション」戦略の一環	18
--	----

目で見える欧州自動車産業ニュース

欧州商用車販売、2024年1～9月：燃料別	19～20
-----------------------------	-------

企業名索引.....18

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

中国製EVへの関税上乘せ、30日に発動

欧州連合（EU）の欧州委員会は10月29日、中国製の電気自動車（EV）に対する関税上乘せを正式決定したと発表した。30日から5年間にわたって、最大35.3%の追加関税を課す。

欧州委は6月、中国で生産されるEVについて進めている反補助金調査について、不当な公的補助を受け、安値でEVをEUに輸出して域内の事業者を圧迫しているとする暫定調査結果を発表。同国製EVの関税を従来の10%から引き上げる方針を打ち出した。

この問題をめぐっては、中国の報復を恐れて反対するEU加盟国が少なくなく、10月4日の採決ではEUの自動車大国であるドイツやハンガリー、スロバキア、スロベニア、マルタの5カ国が反対、スペインなど12カ国が棄権。フランス、イタリア、ポーランド、オランダ、デンマーク、アイルランド、ブルガリア、バルト3国の10カ国が賛成し、追加関税発動が承認された。

追加関税は海外のメーカーが中国国内で生産するEVも対象となる。上乘せ幅は各社の反補助金調査への協力度、中国政府から受けている補助金など優遇措置の度合いによって決まる。調査に非協力的なメーカーが最大35.3%。協力的な場合は20.7%となる。テスラは補助金が他のメーカーより少ないとして特別扱いされ、全メーカーで最低の7.8%となった。

中国の主要メーカーでは、上海汽車集団が最高の35.3%。従来の10%と合わせて45.3%となる。比亞迪（BYD）は17%、吉利汽車は18.8%。

関税上乘せに猛反発する中国政府は8月、世界貿易機関（WTO）のルールに反する不当な措置として、EUをWTOに提訴。また、EUが追加関税を発表してから、対抗措置として、EU産の豚肉、乳製品、ブランドーへの反ダンピング（不当廉売）または反補助金調査を開始し、ブランドーに関しては10月8日、反ダンピング関税を暫定的に課すと発表した。

一方、EU、中国ともEV関税問題を話し合いで解決する姿勢は崩しておらず、今後も協議を続ける方針だ。

<AI22327>

欧州商用車販売、1～9月にバンは8.5%増加

欧州自動車工業会（ACEA）は10月29日、欧州連合（EU）における2024年1～9月の商用車新車登録台数を発表した。これによると、バン（小型商用車）は、前年同期比8.5%増の117万310台と好調だった。主要4カ国すべて販売が伸びた。特に、スペイン（16.7%増）が好調で、ドイツ（8.2%増）、イタリア（7.3%増）、フランス（5.8%増）も前年同月を上回った。

トラック（中・大型合計）は、前年同期比7.5%減の24万9,708台と低迷した。中型トラックは前年同期比3.0%増4万4,257台と前年同期を上回ったが、大型トラックが前年同期比9.5%減の20万5,451台にとどまった。

バスは、前年同期比16.0%増の2万7,400台と、2ケタの伸び率だった。主要国すべてで販売が伸びた。中でも、スペイン（21.8%増）、イタリア（21.0%増）が好調だった。

（5～9頁の表参照、燃料悦のグラフは【目で見える欧州自動車産業ニュース】19～20頁に掲載）

欧州商用車新車登録、小型商用車 (3.5トン以下)

国	1～9月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	25,602	22,798	12.3
ベルギー	49,855	52,296	-4.7
ブルガリア	5,351	3,926	36.3
クロアチア	6,386	5,235	22.0
キプロス	1,745	1,273	37.1
チェコ	16,963	16,012	5.9
デンマーク	21,090	18,275	15.4
エストニア	2,752	2,923	-5.9
フィンランド	7,504	8,475	-11.5
フランス	288,204	272,446	5.8
ドイツ	209,273	193,406	8.2
ギリシャ	7,575	7,672	-1.3
ハンガリー	18,393	15,325	20.0
アイルランド	28,969	26,544	9.1
イタリア	150,555	140,370	7.3
ラトビア	2,084	2,107	-1.1
リトアニア	2,205	2,341	-5.8
ルクセンブルク	3,019	4,372	-30.9
マルタ	632	623	1.4
オランダ	70,758	53,744	31.7
ポーランド	48,055	47,304	1.6
ポルトガル	23,637	20,196	17.0
ルーマニア	15,365	12,733	20.7
スロバキア	6,976	6,646	5.0
スロベニア	6,188	5,649	9.5
スペイン	122,383	104,851	16.7
スウェーデン	28,791	30,757	-6.4
欧州合計	1,170,310	1,078,299	8.5
アイスランド	1,469	1,523	-3.5
ノルウェー	22,046	20,272	8.8
スイス	22,646	21,847	3.7
EFTA	46,161	43,642	5.8
英国	268,227	259,365	3.4
EU+EFTA+UK	1,484,698	1,381,306	7.5

出所：欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、中型トラック
(3.5トン超～16トン未満)

国	1～9月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	—	—	—
ベルギー	— 1,077	— 943	14.2
ブルガリア	—	—	—
クロアチア	293	217	35.0
キプロス	70	63	11.1
チェコ	—	—	—
デンマーク	453	405	11.9
エストニア	45	28	60.7
フィンランド	580	836	-30.6
フランス	5,999	6,558	-8.5
ドイツ	21,619	20,100	7.6
ギリシャ	144	241	-40.2
ハンガリー	343	412	-16.7
アイルランド	409	298	37.2
イタリア	3,715	3,515	5.7
ラトビア	72	60	20.0
リトアニア	79	74	6.8
ルクセンブルク	85	83	2.4
マルタ	—	—	—
オランダ	1,432	1,745	-17.9
ポーランド	2,520	2,578	-2.2
ポルトガル	594	553	7.4
ルーマニア	0	0	—
スロバキア	251	306	-18.0
スロベニア	109	116	-6.0
スペイン	3,988	3,390	17.6
スウェーデン	380	428	-11.2
欧州合計	44,257	42,949	3.0
アイスランド	80	100	-20.0
ノルウェー	1,108	1,279	-13.4
スイス	663	560	18.4
EFTA	1,851	1,939	-4.5
英国	10,999	8,887	23.8
EU+EFTA+UK	57,107	53,775	6.2

出所：欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、大型トラック (16トン以上)

国	1～9月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	6,453	6,308	2.3
ベルギー	6,375	7,120	-10.5
ブルガリア	—	—	—
クロアチア	1,295	1,353	-4.3
キプロス	64	50	28.0
チェコ	6,833	7,899	-13.5
デンマーク	3,357	3,450	-2.7
エストニア	466	646	-27.9
フィンランド	2,082	2,311	-9.9
フランス	32,373	33,533	-3.5
ドイツ	48,363	55,141	-12.3
ギリシャ	599	361	65.9
ハンガリー	3,917	4,334	-9.6
アイルランド	2,217	2,074	6.9
イタリア	18,918	18,647	1.5
ラトビア	823	1,456	-43.5
リトアニア	4,826	8,405	-42.6
ルクセンブルク	782	1,397	-44.0
マルタ	—	—	—
オランダ	10,178	11,343	-10.3
ポーランド	18,463	23,996	-23.1
ポルトガル	4,121	4,138	-0.4
ルーマニア	6,399	6,198	3.2
スロバキア	2,341	2,700	-13.3
スロベニア	1,611	1,888	-14.7
スペイン	18,732	16,896	10.9
スウェーデン	3,863	5,385	-28.3
欧州合計	205,451	227,029	-9.5
アイスランド	201	223	-9.9
ノルウェー	3,654	3,684	-0.8
スイス	2,970	2,825	5.1
EFTA	6,825	6,732	1.4
英国	28,825	31,510	-8.5
EU+EFTA+UK	241,101	265,271	-9.1

出所: 欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、中・大型トラック合計

国	1～9月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	6,453	6,308	2.3
ベルギー	7,452	8,063	-7.6
ブルガリア	—	—	—
クロアチア	1,588	1,570	1.1
キプロス	134	113	18.6
チェコ	6,833	7,899	-13.5
デンマーク	3,810	3,855	-1.2
エストニア	511	674	-24.2
フィンランド	2,662	3,147	-15.4
フランス	38,372	40,091	-4.3
ドイツ	69,982	75,241	-7.0
ギリシャ	743	602	23.4
ハンガリー	4,260	4,746	-10.2
アイルランド	2,626	2,372	10.7
イタリア	22,633	22,162	2.1
ラトビア	895	1,516	-41.0
リトアニア	4,905	8,479	-42.2
ルクセンブルク	867	1,480	-41.4
マルタ	—	—	—
オランダ	11,610	13,088	-11.3
ポーランド	20,983	26,574	-21.0
ポルトガル	4,715	4,691	0.5
ルーマニア	6,399	6,198	3.2
スロバキア	2,592	3,006	-13.8
スロベニア	1,720	2,004	-14.2
スペイン	22,720	20,286	12.0
スウェーデン	4,243	5,813	-27.0
欧州合計	249,708	269,978	-7.5
アイスランド	281	323	-13.0
ノルウェー	4,762	4,963	-4.0
スイス	3,633	3,385	7.3
EFTA	8,676	8,671	0.1
英国	39,824	40,397	-1.4
EU+EFTA+UK	298,208	319,046	-6.5

出所：欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、バス (3.5トン超)

国	1～9月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	833	750	11.1
ベルギー	675	563	19.9
ブルガリア	—	—	—
クロアチア	153	91	68.1
キプロス	95	199	-52.3
チェコ	919	548	67.7
デンマーク	392	294	33.3
エストニア	154	143	7.7
フィンランド	475	215	120.9
フランス	5,010	4,735	5.8
ドイツ	4,224	3,911	8.0
ギリシャ	758	204	271.6
ハンガリー	327	699	-53.2
アイルランド	553	298	85.6
イタリア	4,798	3,966	21.0
ラトビア	289	133	117.3
リトアニア	212	184	15.2
ルクセンブルク	226	197	14.7
マルタ	—	—	—
オランダ	412	222	85.6
ポーランド	1,577	1,211	30.2
ポルトガル	783	581	34.8
ルーマニア	418	419	-0.2
スロバキア	173	474	-63.5
スロベニア	144	100	44.0
スペイン	3,283	2,695	21.8
スウェーデン	517	793	-34.8
欧州合計	27,400	23,625	16.0
アイスランド	159	118	34.7
ノルウェー	716	794	-9.8
スイス	403	356	13.2
EFTA	1,278	1,268	0.8
英国	6,157	4,304	43.1
EU+EFTA+UK	34,835	29,197	19.3

出所: 欧州自動車工業会

<AI22328>

企業情報

■自動車メーカー■■■■■■■■■

VWグループの1～9月期決算、営業利益は20.5%減

独自動車大手のフォルクスワーゲン（VW）・グループは10月30日、2024年1～9月期のグループ売上高が前年同期比0.9%増の2,373億ユーロとなったと発表した。営業利益は前年同期比20.5%減の約129億ユーロと大幅に落ち込んでおり、売上高利益率は5.4%（前年同期：6.9%）に縮小した。

量産ブランドグループ「コア（Core）」の業績悪化や、再建コスト、固定費、新モデル導入に向けたコストが利益を押し下げた。コア（Core）の営業利益率は4.4%で、VWブランド単独の営業利益率は2%にとどまった。

グループ販売台数は、前年同期比4.4%減の約650万台だった。北米（4%増）、南米（16%増）で増加したものの、西欧（1%減）、中国（12%減）の減少を相殺できなかった。

VWグループは通期の出荷台数で約900万台（2023年：924万台）、売上高は約3,200億ユーロ（2023年：3,223億ユーロ）を見込んでいる。営業利益は約180億ユーロ（売上高利益率で約5.6%）を予想している。

<AI22329>

オペルが新型「モッカ」の受注開始、エントリーモデルは2万6,740ユーロから

欧州自動車大手ステランティス傘下の独オペルは10月23日、小型SUV「モッカ」の新モデルの受注を開始したと発表した。ドイツ市場での販売価格はガソリンモデルが2万6,740ユーロから、48ボルトシステムを搭載したハイブリッド（HV）モデル「モッカ・ハイブリッド」は2万9,740ユーロから、完全電気駆動（BEV）モデル「モッカ・エレクトリック」は3万6,740ユーロからとなる。

ガソリンモデルはパワートレインとして出力100キロワット（kW）のエンジンを搭載する。HVモデルは最高出力100kWの1.2リットル3気筒・直噴ガソリンターボエンジンと出力21kWの電気モーター、6速デュアルクラッチ・トランスミッション（DCT）を組み込んでいる。BEVモデルは出力115kW、最大トルク260Nmの電気モーターに容量54キロワット時（kWh）のバッテリーを組み合わせ、最大403キロメートル（WLTPサイクル）の航続可能距離を確保している。

いずれのモデルも対話型生成AI「チャットGPT」をナビゲーションシステムで利用できる。



出所：Opel

<AI22330>

独クアントロン、破産申請

独電動商用車メーカーのクアントロンがこのほど、アウグスブルグ地方裁判所に破産を申請した。2024年10月29日から暫定破産手続きに入っている。アウグスブルグ地方裁判所は、独再建法律事務所BBLのコンスタンティン・グラフ・サルム・ホーグシュトラーター氏を暫定管財人に任命した。

サルム・ホーグシュトラーター氏はまず現状分析を行う方針を示しており、「今後の見通しについて信頼できる発言をする前に、まず経営状態と現場の状況を把握する必要がある」とコメントしている。

クアントロンは、独物流会社ハラーのスピンオフ企業として2019年7月に設立された。従業員数は現在約90人。クアントロンの創業者であるアンドレアス・ハラー最高経営責任者（CEO）は2024年9月に2度目の心臓発作を発症し、現在、リハビリ中の状況にある。同社の経営は現在、暫定CEOであるデニス・ムラトフ監査役会長、ベアテ・ライマン財務担当取締役（CFO）、レネ・ウォルマン開発担当取締役（CTO）の3人が率いている。

<AI22331>

ボルボ・カー、Q3は29%の増益

スウェーデン乗用車大手のボルボ・カーが10月23日発表した2024年7-9月期（第3四半期）決算の営業利益（EBIT）は58億クローナとなり、前年同期から28.9%増加した。欧州を中心に電動車の販売が好調で全体を押し上げた。売上高は1.1%増の930億クローナ。売上高営業利益率は4.8%から6.2%に改善した。7-9月期の世界販売は前年同期比3%増の17万2,849台に拡大した。完全電気自動車（BEV）とプラグインハイブリッド車（PHV）の販売が全体の48%を占め、BEVは前年同期から12ポイント増の25%に拡大した。

今後について同社は、欧州、中国、米国の自動車市場の冷え込みと地政学的な不確実性、および販売量よりもプレミアムブランドとしての価値の維持を優先することを考えると、10-12月期（第4四半期）の販売数の伸び率は最小に留まると予想。通年の売上高成長率予測を従来の12～15%から7～8%に引き下げた。

同社は2030年までに純粋な電気自動車メーカーとなることを目指す一方、BEVとPHV、マイルドハイブリッド（MHV）を適切に組み合わせて販売することで市場低迷の影響を緩和する方針を示している。

<AI22332>

ステランティス、新ランチア「ガンマ」を伊メルフィ工場で生産

欧州自動車大手ステランティスは10月25日、傘下の伊ランチアの新型「ガンマ」を同国南部メルフィにある工場から2026年から生産すると発表した。新型「イプシロン」に続く新生ランチアの第2弾モデルとなる。

中型乗用車の「ガンマ」は1976年から84年まで生産されていた。実に40年振りのモデルチェンジとなる新「ガンマ」は「STLAミディウム」プラットフォームを採用する。

名門ブランドのランチアは長らく低迷が続いていたが、ステランティスは2022年に発表した経営戦略「デア・フォワード2030」の中で、同ブランドをDSやアルファロメオと並ぶプレミアムグループに含める方針を打ち出した。これに沿い、今年2月にはブランド初の完全電気自動車（BEV）となる新「イプシロン」を発表した。

メルフィ工場は1994年の開設。現在はジープ「コンパス」と「レネゲード」を生産している。

<AI22333>

■部品メーカー■

パワーセルとゼロアビア、次世代燃料電池スタックの開発で協力

スウェーデンの燃料電池メーカー、パワーセルは10月29日、燃料電池航空機を開発する米英新興企業ゼロアビア（ZeroAvia）と次世代燃料電池技術の開発で協力する覚書（MoU）を締結したと発表した。航空宇宙用途や、高エネルギー出力の大型燃料電池システムが必要なその他の分野向けの燃料電池技術の共同開発を検討する。大型固定翼航空機や回転翼航空機など、より集約的な用途を可能にする中・高温の燃料電池に重点を置く。

両社はすでに数年間にわたり協力関係にあり、パワーセルのスタックは、ゼロアビアのパワートレインのプロトタイプに組み込まれている

パワーセルでは現在、このほか、航空機および海洋用途向けの両方で、高負荷途向け燃料電池スタック（HDS：ヘビーディーティスタック）を使用したプロジェクトが進行している。HDSは、航空、海洋、発電、オフロード、オンロードなど様々な分野の用途に使用することができる。ショートスタックで高エネルギー密度を供給できることが確認されており、今後さらにフルスタックで5kW/kgを超える実証試験を行う予定。

<AI22334>

フォルビアのアプリマーケット、ダチア車に搭載

欧州自動車部品大手のフォルヴィアは10月22日、アプリ配信プラットフォーム大手のアプトイデ（Aptoide）と提携して展開するアプリマーケット・ソリューションである「Aptoide Apps Market」を、仏自動車大手ルノーのルーマニア子会社ダチアのモデルに提供していると発表した。今年8月の時点で、新型「ダスター」と「スプリング」の計約3万台に同ソリューションを搭載している。

ユーザーは「Aptoide Apps Market」にある200以上のアプリから、ダチアが選んだSpotify、Amazon Music、Here NavigationなどのアプリをAppstoreから無料でダウンロードできる。プラットフォームへの接続は駐車中や充電中などに行える。アプリは自動車の運転中でも安全に使える仕様になっている。

フォルビアは2025年までに、アプリ配信事業を通じてスマート自動車向け製品市場でシェア20%を占める目標を掲げる。同社は声明で、「自動車OEMと協力することで、安全規制を遵守しつつ、アプリを車に迅速に統合できる。当社で急成長しているアプリ事業は単なるエンターテインメントを超えた新しい体験を提供していく」と述べた。

<AI22335>

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000～3,000ユーロから



EKPO、宇宙センターの定置用発電機向けに燃料電池スタックを供給

独エルリングクリンガー（EK）と仏OPモビリティ（旧プラスチック・オムニウム）による燃料電池スタックの合併会社EKPOフューエルセル・テクノロジーズ（以下、EKPO）は10月29日、ベルギーのシステムインテグレーターMITIS向けに定置用発電機用の高効率の燃料電池システムを開発すると発表した。複数年の開発プロジェクトの枠組みを通して、さまざまな燃料電池スタックをMITISが開発・製造する燃料電池システムに供給する。

両社の協力は、欧州のプロジェクト「HYGUANE」の一環に位置づけられる。「HYGUANE」は、太陽光発電エネルギーを使用して水電解装置により再生可能な低エミッション水素を生成し、欧州の新型大型ロケット「アリアン6」や、フランス領ギアナにある欧州宇宙機関（ESA）の宇宙センターで使用する水素車両、分散型発電機などに供給することを目的としている。ESAの宇宙センターでは、今後数年以内に、化石燃料で作動している多数の発電機を全面的に気候中立の高効率技術に置き換えていく計画。

EKPOはMITISに、2023年9月に最初のスタックモジュール「NM5 evo」を、2024年6月にはさらに高出力のスタックモジュール「NM12」を供給している。

プロジェクト期間は差し当たり3年で、MITISはEKPOと協力し、最大150kW_{el}の燃料電池システムを開発する計画。長期的には、総出力が最大1MW_{el}の燃料電池システムの開発を目指している。これにより将来は、特定のプロジェクトの枠組みを超えて、様々な用途の分散型発電機に水素燃料システムを供給できると見込んでいる。

<AI22336>

Information Broker Service

私たちは情報を迅速に探し出すスペシャリストです

FBCでは長年の調査業務ノウハウを活用して
広範囲な情報検索サービスを提供しています



プレスリリース

特定テーマに関する各界の評価
政府の統計データ・公式見解など



情報検索

官報・広報・特許・学術文献
調査レポート・書籍など



問合せや訪問予約の アレンジメント

産業団体・関係当局・専門家
各所への問い合わせなど

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせはFBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 info@fbc.de まで



H2Rhein-Neckar

水素燃料の活用により公共旅客輸送の脱炭素化に取り組むドイツのプロジェクト。独南西部のバーデン・ヴュルテンベルク州政府が資金支援しており、同州のマンハイムとハイデルベルクで運行している既存のディーゼルバスを低エミッションの車両に置き換えるほか、水素供給ステーションや充電インフラを整備する計画。

これらの取り組みと並行し、公共旅客輸送を低エミッション車両へ移行する際の技術的、経済的な課題などを学術的に分析する。プロジェクトの成果は、他の自治体や交通事業者などによる同様の取り組みに役立てる。

プロジェクトを主導するのは、e-mobil BW（新しいモビリティソリューションと自動車のためのバーデン・ヴュルテンベルク州機関）。プロジェクトにはこのほか、ライン・ネッカー地域の交通事業者ライン・ネッカー交通公社（RNV）、ドイツ全域を網羅する水素供給スタンド網の整備を目指して設立された合弁会社 H2 モビリティ、カールスルーエ技術研究所（KIT）・情報処理技術研究所（ITIV）、マンハイム大学・持続可能なエネルギー研究のためのマンハイム研究所（MISES）が参加している。

■ マンハイムで新しい水素供給ステーション開設

マンハイムではこのほど、RNV の車両基地（デポ）に新しい水素供給ステーションが開設した。当該ステーションでは、350 バールと 700 バールで水素燃料を充填することができ、バス、トラック、ごみ収集車のほか、小型商用車や乗用車も利用することができる。

RNV は当該プロジェクトを通して調達したメルセデスベンツの連節電気バス「H2-e シターロ」13 台の水素燃料をこの新しいステーションで補給する。「H2-e シターロ」は、バッテリーに加えレンジエクステンダーとして燃料電池を搭載している。

プロジェクトの実施期間は 2020 年 9 月～2025 年 3 月まで。バーデン・ヴュルテンベルク州環境・気候・エネルギー経済省が約 1,670 万ユーロを資金支援している。

欧州自動車短信

■ スウェーデン乗用車大手の**ボルボ・カーズ**は10月30日、スウェーデンの新興電池企業ノースポルトと設立した合併会社NOVOエナジーについて、ボルボ・カーズが償還権を行使して、ノースポルトが保有するNOVOエナジーの資本の持ち分をボルボ・カーズが取得することをノースポルトに通知したと明らかにした。ノースポルトが財務上の義務を履行しておらず、両社の合意に違反していることを受けたもの。ボルボ・カーズは、同社がNOVOエナジーの完全所有権を取得する前提で、NOVOエナジーの今後についてさまざまなオプションを検討している。NOVOエナジーは、ボルボ・カーズの電気自動車向けにバッテリーセルを生産している。ボルボ・カーズは今回の措置について、多様で回復力のあるバッテリー・サプライチェーンを構築しており、同社のモデル計画に影響はないと説明している。

■ 独自動車大手の**アウディ**は10月29日、従業員の代表機関である事業所委員会と労働組合に、ベルギーのブリュッセル工場を閉鎖すると通達した。2025年2月末に生産を停止する予定。工場を閉鎖するまで解雇は行わない方針としている。同工場には現在、従業員約3,000人が勤務している。メディア報道によると、26の投資家から同工場に関心が寄せられたが、実現可能で持続可能なコンセプトを提示した投資家はいなかったよう。アウディのブリュッセル工場では、電気自動車「Q8 eトロン」シリーズを生産している。アウディは7月初め、同シリーズの受注急減を受け、ブリュッセル工場の再建を検討する意向を発表。適切な再建案が見つからなければ、工場を閉鎖する可能性も示唆していた。アウディは「Q8 eトロン」の後継モデルをメキシコ工場で生産する予定。

<AI22337>

ドイツ語での 情報収集・検索でお困りではありませんか？

FBCの「インフォメーション・ブローカーサービス」は、クライアントが必要とする情報迅速に探し出す情報検索サービスです。私たちは長年の調査業務ノウハウを活用して広範囲な情報検索を提供しています。



プレスリリース



情報検索



問合せや訪問予約の
アレンジメント

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせ: FBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 info@fbc.de

一般・その他

サーブ製鉄所の脱炭素化、欧州委が公的補助を承認

欧州委員会は10月21日、スウェーデン鉄鋼大手サーブ（SSAB）の脱炭素化事業に同国政府が1億2,800万ユーロの補助金を交付することを承認したと発表した。

サーブは北東部のルーレオ製鉄所で、ロシアから輸入する石炭を使ってきた。しかし、温室効果ガス削減のため、石炭の代わりに水素を使った製鉄法を採用し、電気アーク炉を導入するなどして排出量をほぼゼロにするプロジェクトを進めている。

欧州連合（EU）では民間企業への公的補助を厳しく制限するルールがあるが、欧州委はEU全体の脱炭素化推進、化石燃料のロシア依存脱却に寄与するとして、承認した。

<AI22338>

インテルへの巨額制裁巡る訴訟、EUの敗訴が確定

欧州連合（EU）の最高裁に当たるEU司法裁判所は10月24日、欧州委員会が米インテルにEU競争法違反で巨額の制裁を科した決定を無効とする判決を下した。これによって同問題をめぐるEU側の敗訴が確定した。

欧州委は2009年、インテルが02～07年にライバルの米AMDをパソコン用CPU（中央演算処理装置）市場から排除するため、大手パソコンメーカーに自社製品の採用を求めたり、大手小売りチェーンに自社製プロセッサ搭載パソコン以外は販売しないよう求める見返りに、リベートを支払っていたという調査結果をまとめ、こうした行為は市場支配的地位の乱用に当たると認定。1社に対する制裁金としては当時で過去最高となる10億6,000万ユーロの支払いを命じた。

インテルは決定を不服として提訴したが、EU司法裁の一般裁判所（下級審に相当）は14年、欧州委の判断を支持する判決を下した。

しかし、インテルがなお食い下がった結果、上級審は17年、欧州委の決定を支持した一般裁判所の判決を破棄し、審理の差し戻を決定。一般裁は22年、欧州委の分析が「不完全」で、「リベートが反競争的な結果を招いたことを立証できていない」としてインテルに軍配を上げ、制裁決定を無効としていた。EU司法裁は一般裁の同判決を支持した。

一方、一般裁はリベートに関して、インテルのCPUを搭載させるため支払った点は証拠不十分とした一方で、インテルがパソコンメーカーに圧力をかけ、他社のCPUを搭載した製品の販売停止、販売開始時期を延期する見返りに払うケースはEU競争法で禁止される独占的地位の悪用に当たると認定。これを受けて欧州委は23年9月、3億7,636万ユーロの制裁金支払いを命じた。インテルはこれを不服して上訴している。

<AI22339>

マイクロソフトのリンクトイン、EUデータ保護規則違反で制裁

欧州連合（EU）加盟国アイルランドのデータ保護委員会（DPC）は10月24日、米マイクロソフト傘下のビジネス向けソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）運営会社リンクトインに対して、EUの一般データ保護規則（GDPR）に違反したとして、3億1,000万ユーロの制裁金支払いを命じたと発表した。

DPCはリンクトインが利用者の十分な同意がないまま、利用者の嗜好や行動パターンなどに基づいて配信するターゲティング広告配信に個人情報を利用したとして制裁を科した。

EUではGDPR違反の制裁を大手IT企業の欧州拠点が集中するアイルランドの当局に委ねるケースが多く、今回の案件もDPCの管轄となった。

<AI2240>

ウクライナへの350億ユーロ融資、欧州議会も承認

欧州議会は10月22日に開いた本会議で、ロシアによる軍事侵攻が長期化するウクライナに欧州連合（EU）が最大350億ユーロを融資する計画を承認した。これによってEUによる同融資が正式に決まった。

同融資は主要7カ国首脳会議（G7サミット）で大筋合意した500億ドルの対ウクライナ融資の一部。ウクライナからの返済には、EUが凍結したロシア資産の運用益を充てる。欧州委のフォンデアライエン委員長は9月、ウクライナのゼレンスキー大統領に融資実施を約束していた。

EU加盟国は9日に融資を承認済み。欧州議会でも賛成518、反対56、棄権61の圧倒的多数で融資が承認された。

<AI22341>

モルドバの国民投票にロシアが介入、EUが非難

欧州委員会は10月21日、旧ソ連邦のモルドバで20日に実施された欧州連合（EU）加盟の是非を問う国民投票にロシアが不当に介入したとして非難した。

欧州委のスタノ報道官は、「国民投票はロシアと代理勢力から、かつて例がないほどの介入、脅しにさらされながら実施された」とコメント。「ロシアはモルドバの民主主義のプロセスを不安定化させようとした」と批判した。

ウクライナとルーマニアに挟まれたモルドバは、ウクライナに対するロシアの軍事侵攻が始まった直後の2022年3月にEU加盟を申請した。EUは異例の速さで加盟に向けた手続きを進め、22年6月に加盟候補国として認定。2023年12月の首脳会議で加盟交渉開始を承認した。

今回の国民投票は、憲法を改正し、EU加盟を国家目標として明記することの是非を問うもの。当初は大差で承認されると目されていたが、結果は賛成50.46%、反対49.54%と僅差だった。

モルドバ政府は投票前、ロシアがオンラインで偽情報を流すなど国民投票に介入していると警戒感を示していた。

<AI22342>



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

JLRが印に5つめのイノベーションハブ開設、「オープンイノベーション」戦略の一環

英高級車メーカーのジャガーランドローバー（JLR）は10月23日、インドのバンガロールにイノベーションハブを開設したと発表した。スタートアップ企業との協業に重点を置く成長イニシアチブ「オープンイノベーション」の一環。同社にとり5つめのハブで、人工知能（AI）、ビッグデータ分析、モノのインターネット（IoT）、先進運転支援システム（ADAS）、センサーと端末などのディープテック分野に焦点を合わせる。

「モダンなラグジュアリーブランド」への転身を目指すJLRは2022年に「オープンイノベーション」プログラムを発表。米ベンチャーキャピタル（VC）大手のプラグ・アンド・プレイと提携し、英、米、イスラエル、ブラジルにイノベーションハブを開設してきた。インドのハブ開設は既存拠点の成功を受けたものとなる。

同プログラムはこれまで、全世界で2,500社以上のスタートアップと提携し、正式に33件の協業を実現した。主な例に、◇電動車の中古バッテリーを二次利用したバッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）を英アライ・エナジー（Allie Energy）と共同開発◇JLRのVC子会社「インモーション」を通じ投資しているブラジルのエナジーソース（Energy Source）による、初の太陽光発電式充電ステーションの設立——などがある。

<AI22343>

■企業名索引

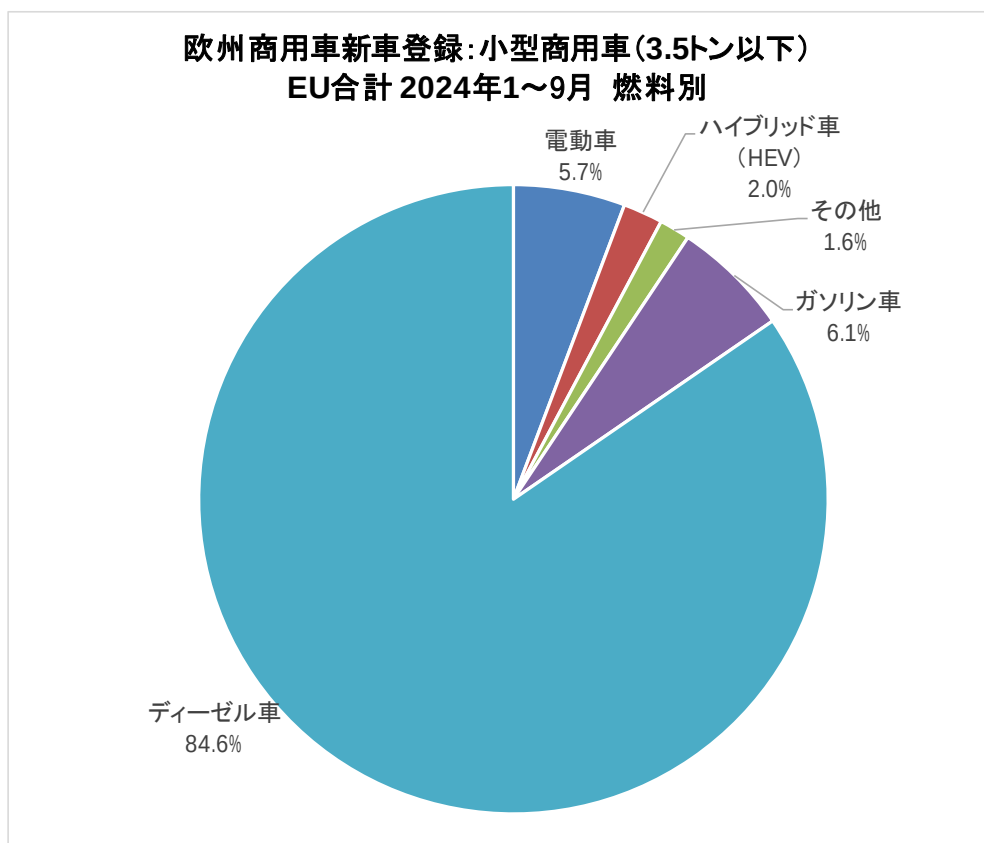
今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁		
Audi	15	QUANTRON..... 11	
EKPO	13	Stellantis／Lancia	11
Forvia	12	Volkswagen Group.....	10
Jaguar Land Rover	18	Volvo Cars.....	11,15
Opel.....	10		
PowerCel.....	12		

目で見える欧州自動車産業ニュース

欧州商用車販売、2024年1～9月：燃料別



出所：各国自工会；ACEA

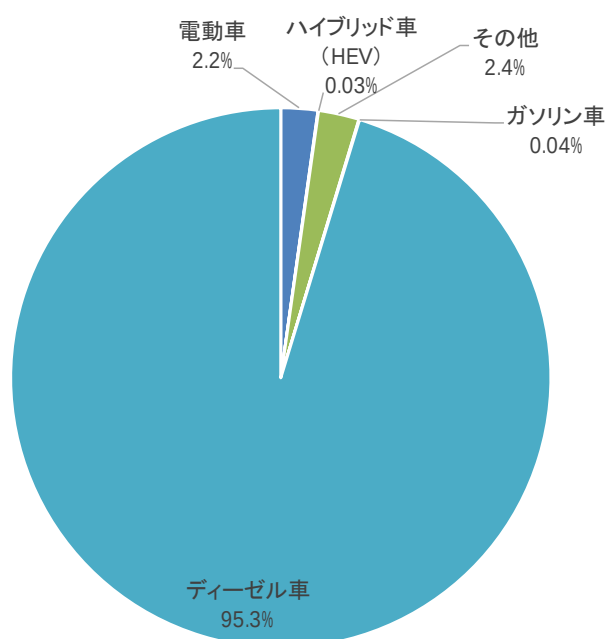


欧州自動車工業会（ACEA）によると、バン（小型商用車）の燃料別の登録台数は、主流のディーゼル車が前年同期比 10.6%増の 98 万 9,975 台となり、市場シェアで 84.6%を確保した。ガソリン車は前年同期比 7.5%増の 7 万 837 台で、市場シェアは 6.1%だった。電動車は前年同期比 12.8%減の 6 万 7,196 台となり、市場シェアは 5.7%（前年同期：7.1%）に縮小した。

トラック（中・大型合計）は、ディーゼル車が前年同期比 7.3%減の 23 万 7,937 台で、市場シェアの 95.3%を占めた。電動車は前年同期比 6.6%減の 5,510 台で、市場シェアは 2.2%だった。

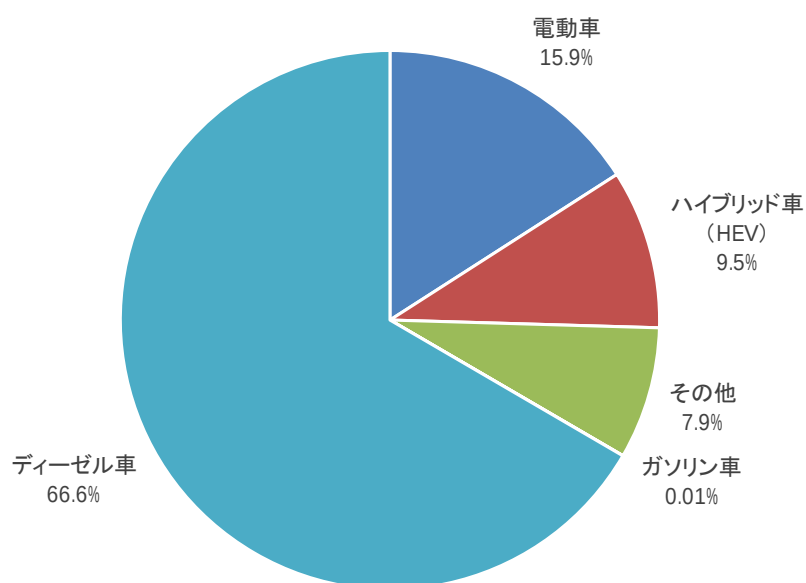
バスは、電動車が前年同期比 28.7%増の 4,362 台と、市場シェアを 15.9%に拡大した（前年同期：14.3%）。ディーゼル車は前年同期比 19.4%増 1 万 8,248 台で、市場シェアは 66.6%だった。（前年同期：64.7%）。

欧州商用車新車登録:中・大型トラック EU合計 2024年1~9月 燃料別



出所: 各国自工会; ACEA

欧州商用車新車登録:バス EU合計 2024年1~9月 燃料別



出所: 各国自工会; ACEA

<AI22344>